

お知らせ

2026年3月10日
JCOM株式会社

J:COMグループ「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定

JCOM株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)は、経済産業省と日本健康会議が共催する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2026(ホワイト500)」に認定されました。

「健康経営優良法人制度」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大企業や中小企業の法人を顕彰する制度で、大規模法人部門の上位500法人に対しては「ホワイト500」として認定されます。当社は2019年度から8年連続で健康経営優良法人に選定されています。



J:COMは、従業員と家族の心身の健康を大切に、健康支援や仕事と育児・介護・病気・障がいの両立を支える制度を整え、働きやすい職場づくりを推進しています。

■当社の主な取り組み

1. 健康経営を全社方針として明確化し、推進体制を強化

サステナビリティ経営方針「従業員と家族の幸福」の実現のため、コーポレート担当役員を最高責任者として健康経営を推進してまいりました。「従業員のワークエンゲージメント向上」「プレゼンティーズムの改善」「アブセンティーズムの低減」「心と体の健康維持・増進」の4つの目標指標をきっかけ、具体的なKGIを設定のうえ、役員・各部門責任者と協議しながら全社施策として取り組んでいます^(※1)。

^(※1)従業員の健康課題の把握と対策についてくわしくはこちらをご覧ください。

https://www.jcom.co.jp/corporate/sustainability/well_being/health/

2. 産業保健体制の充実と社員の健康サポート施策の強化

特定保健指導について、健康保険組合と連携し、上司・人事部門が受診勧奨や離脱防止、完了までのフォローを行う「申し込みから完了までのサポート体制」を強化しました。また、当社独自に要精密検査対象者をハイリスク社員と位置づけ、産業医・保健師が保健指導を複数回実施、重症化予防を推進しています。その結果、ハイリスク社員はほぼ全員が精密検査受験済みとなりました。

3. 社員の健康増進を促進する社内イベント・運動機会の提供

従業員の意識変容・行動変容を促す機会として、生活習慣改善（食事、運動、禁煙）、ヘルスリテラシー向上（健康管理・女性研修）・メンタルヘルスに資する様々な施策に取り組んでいます。

■具体的な事例

【健康測定イベント】全国36拠点で実施。参加者数 2,260名

【ウォーキングコンペ】年2回開催。参加者数 2,600名

【セルフケア・ラインケア研修】受講率 95.6%

その他、社内外に向けたフェムテック啓発イベントの開催など、さまざまな健康イベントを展開し、楽しく継続できる施策を通じて、社員の健康への意識向上と行動変容を実現しています。



（左）フェムテック関連の情報と製品を並べた展示コーナー



（右）男性社員のボトムアップ施策「フェムテック啓発イベント」

J:COMはこれからもウェルビーイング向上に向けた取り組みを継続的に強化し、従業員一人ひとりがより輝ける環境づくりを推進していきます。

J:COMのサステナビリティ

J:COMでは、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4つのマテリアリティと、さらに具体化した12のサブマテリアリティを2023年度に再設定しました。

<本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「ウェルビーイングの実現」 サブマテリアリティ:「健康経営の推進」



J:COM は「すべての人を大切にする」という価値観の下、従業員一人ひとりが自分らしく能力を発揮できる機会の拡充やキャリア形成を支援し、多様な個性や価値観が尊重される豊かな社会の実現に貢献していきます。